

# ◇ 事業報告

## 事業団総括事項

令和4年度においても、前年度から続く新型コロナウイルス感染症の感染拡大が繰り返し発生し、事業団が管理運営する全ての施設・事業において、様々な制約を受けながらの運営となりました。

年度当初の新型コロナウイルス感染症第6波から始まり、その後第7波、第8波と感染拡大が発生、ウイルスの感染力が強まり感染者数も飛躍的に増加するという情勢となりました。前年度のようにいわき市から感染拡大防止のための臨時休業の要請は無く、いわき市健康・福祉プラザをはじめ、事業団が管理運営する指定管理施設も感染拡大防止のための臨時休業は行いませんでしたが、いわき市障害者生活介護センター、永井保育所、内郷児童館については、職員または利用者の感染を受け3日～4日、臨時休業しました。感染症の重症化率などは低下しているとの発表もありましたが、感染予防のため引き続き各施設において人数制限や時間制限、感染リスクの高い活動に対する利用自粛の要請など、新型コロナウイルス感染症の感染状況に応じて利用制限を実施しながらの運営を行ったものの、公益目的事業のほとんどの施設においては前年度に計150日余りの臨時休業を実施していたため、利用者数等は前年度を上回る結果となりました。

収支の面では、公益目的事業では前年度までの公益目的事業における収入超過4,508千円（黒字）を令和4年度に執行するべく当初の支出予算に4,717千円の増額補正を行って事業を実施したため、その収支は11,919千円の赤字となり、これまでの公益目的事業における収入超過が解消し、その収入を全て公益目的事業のために執行したこととなりました。

一方で、収益事業であるいわき市健康・福祉プラザの通所介護事業と居宅介護支援事業及びいわき市障害者生活介護センターの障害者生活介護事業においては、新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響で利用者増が図れず、合計で前年比2,410千円の収入減少となり、12,196千円の赤字決算となりました。

## 1 公益目的事業（社会福祉事業）

### 1. 総括事項

公益財団法人の核となる公益目的事業として、次の社会福祉事業を実施しました。

#### ○公の施設の指定管理業務

- ・老人福祉センター及び老人憩いの家
- ・児童館・児童センター及びこども元気センター
- ・永井保育所
- ・いわきサン・アビリティーズ
- ・いわき市健康・福祉プラザ温泉利用型健康増進施設及び宿泊研修施設

○いわき市からの委託事業

- ・地域子育て支援拠点事業
- ・パラスポーツ体験教室開催事業
- ・ファミリー・サポート・センター事業
- ・健康づくりサポートセンター事業

○その他の公益事業

- ・障害者相談支援事業（計画相談支援）
- ・温泉療法事業
- ・いきいき健康教室事業

これら施設の管理運営業務並びに各種事業の業務について、不特定多数の者の利益の増進に寄与することを求められる公益目的事業として、広く市民福祉の向上に寄与するべく、新型コロナウイルス感染症の感染予防・対策に留意しながら運営、実施に努めました。

(1) 施設貸与事業（表1-1参照）

①老人福祉センター及び老人憩いの家

【利用制限等】

- ・臨時休業：実施せず。[令和3年度は155日]、[令和2年度は61日]
- ・営業時も感染状況に応じて、感染リスクの高い活動等については自粛を要請（カラオケ、息のあがる運動、囲碁・将棋など）

新型コロナウイルス感染症の感染リスクや重症化リスクが高い高齢者を対象とする施設であるため、引き続き感染症対策を徹底し利用制限等を行いながらの管理運営となりました。しかしながら、断続的に臨時休業を実施した前年度と比べ一年間を通して開館できたため、五施設とも利用件数、利用者数とも上回り、利用件数は前年比823件(72.6%)増の1,957件でした。

②児童施設[こども元気センター、小名浜児童センター、内郷児童館]

地域子育て支援拠点事業（表1-2参照）

【利用制限等】

- ・臨時休業：感染予防のための休業は実施せず、内郷児童館のみ3日間(職員の新型コロナウイルス感染による)。[令和3年度は157日]、[令和2年度は40日]
- ・新型コロナウイルス感染症による学級閉鎖や保育所の臨時休業がしばしば発生する情勢を受け、小学生には保護者同伴による利用の徹底、中高生の利用自粛、利用時間・利用人数の制限、こども元気センターの20時以降の利用及び屋内運動場の貸し出し自粛などを実施

子どもの遊び場、子育て支援の拠点である児童館・児童センター及びこども元気センターについては、感染予防のための臨時休業は実施せず、利用制限等感染対策を行

いながらの運営となりました。その結果、断続的に臨時休業を実施した前年度と比較し、利用者数は三施設ともに大きく増えました。その利用状況は、こども元気センターが前年比 23,982 人(71.8%)増の 57,372 人、小名浜児童センターが前年比 2,545 人(51.0%)増の 7,533 人、内郷児童館が前年比 3,356 人(38.5%)増の 12,078 人となり、児童施設全体では、前年比 29,883 人(63.4%)増の 76,983 人でした。

また、児童施設を会場に実施している地域子育て支援拠点事業についても、施設を通年開館したこともあり、その利用状況は前年度に比較して大きく増え、子育てに関する相談業務の件数は三施設合わせては前年比 2,542 件(106.8%)増の 4,923 件となり、利用親子も 2,870 組(76.4%)増の 6,629 組となりました。

### ③永井保育所

令和 4 年度から川前町の桶売保育所が休所となったため、三和町の永井保育所の指定管理者として施設近郊で暮らす幼児の保育業務を実施し、保育所運営の一環である運動会や発表会などの行事を行いました。引き続き新型コロナウイルス感染症の感染予防・対策を行いながらの運営となりました。利用状況については、前年度同様、感染予防のための臨時休業は実施しなかったものの、児童 1 名が新型コロナウイルスに感染したことを受け 4 日間臨時休業しましたが、在籍児童が前年より 1 名増え 6 名でスタートし、9 月からも 1 名増えて計 7 名になったことから、延利用人数は前年比 254 人(22.3%)増の 1,393 人でした。

### ④いわきサン・アビリティーズ[障がい者教養文化体育施設]

主催事業及びパラスポーツ体験教室開催事業（表 1-3 参照）

#### 【利用制限等】

- ・臨時休業：実施せず。[令和 3 年度は 157 日]、[令和 2 年度は 61 日]
- ・利用定員を 2/3 に制限。営業時も感染状況に応じて、感染リスクの高い活動等については自粛を要請（カラオケ・合唱、ダンス・バスケット等息のあがる運動、囲碁・将棋など）

主として障がい者のスポーツや趣味・教養の場として体育館や研修室等を提供する施設であり、消毒や換気等の感染対策を徹底しながら運営しました。断続的な臨時休業を実施した前年度に比べ、一年間開館できたことや車いすバスケット大会など例年主催している障がい者スポーツ競技会の中止も 3 つ(前年度は 7 つ)にとどまったため、利用者数は障がい者が前年比 3,553 人(94.3%)増の 7,320 人となり、その他利用者を含めた全体でも 10,127 人(70.0%)増の 24,585 人となりました。

一方、いわき市から受託し、いわきサン・アビリティーズを会場に実施したパラスポーツ体験教室開催事業については、東京パラリンピックが開催された前年度に比べ、市民の関心度が薄れたことは否めず、135 人(64.6%)減の 74 人にとどまりました。

### ⑤いわき市健康・福祉プラザ

ア 温泉利用型健康増進施設[クアハウス]（表 1-4 参照）。

#### 【利用制限等】

- ・臨時休業：実施せず。[令和3年度は155日]、[令和2年度は70日]
- ・利用定員を1/2に制限。

温水プールやトレーニングルーム、各種温浴施設の利用を提供することにより生活習慣病の予防など利用者が日々健康増進を図れる施設として、消毒・換気等の感染症対策を行いながら管理運営を行いました。

断続的に臨時休業を実施した前年度と異なり1年を通して営業できましたが、令和3年4月の年間利用券廃止により年間会員の利用は減少し続け、令和4年9月には年間利用券による利用が完全に無くなったため、その利用者数は前年比65,790人(54.1%)減の55,889人となりました。一方、年間会員の受け皿となった回数券利用が、前年比54,187人(652.9%)増の62,487人と大幅に増えたことで、クアハウス全体の利用者数は前年比5,515人(4.1%)減の129,424人でした。また、回数券販売も100回券、20回券合わせて1,324冊、44,768千円を売り上げ、年度後半は、毎月100冊、3,000千円を超える売上で推移しています。

#### イ 宿泊施設（表1-5～7参照）

##### 【利用制限等】

- ・臨時休業：実施せず。[令和3年度は88日]、[令和2年度は51日]

低廉な料金で気軽に温泉保養が楽しめる宿泊施設についても、消毒・換気等の感染症対策を行い、チェックイン時の健康チェック等を行いながら管理運営を行いました。

前年度に始まった福島県の宿泊業支援事業で、福島県及び隣県県民を対象にした「県民割プラス」が継続され、10月からは地域限定が外れた「全国旅行支援」に統合、継続されたため、1年を通して旅行支援が実施されることとなりました。当館でも支援事業に参加した結果、通年で営業できたこともあり、令和4年度の延宿泊利用者は、前年比1,604人(77.0%)増の3,687人となりました。ちなみに、これら支援事業を活用して宿泊した利用者は、「県民割プラス」利用者が延776人、「全国旅行支援」利用者が延1,071人、合計1,847人となり、全体の50.0%を占めました。これは、前年度の「県民割」637人、令和2年度の「県民割」と「Gotoトラベル」を合わせた380人を大きく上回っており、宿泊利用者増加に大きな効果をもたらす結果となりました。

#### ウ 浴室付大広間

##### 【利用制限等】

- ・臨時休業：実施せず。[令和3年度は88日]、[令和2年度は51日]
- ・入場制限（男女共1度に5名まで）、大広間休憩は休業を継続

低廉な料金で手軽に温泉を楽しめる入浴施設である浴室付き大広間についても消毒・換気等の感染症対策を行い、利用制限を行いながらも前年度実施した臨時休業は行わず、1年を通して運営することができました。臨時休業が無かったことやクアハウスの元年間会員から移行して常連的に利用する方が増えたことなどが影響し、利用者数は前年比9,898人(72.9%)増の23,469人でした。

## エ 研修施設

### 【利用制限等】

- ・臨時休業：実施せず。[令和3年度は88日]、[令和2年度は51日]
- ・利用人数を定員の1/2に制限

各種団体などに会議や研修の場として貸し出しを行っている研修施設についても利用制限等は継続しながらも、臨時休業を行わず1年を通して運営することができたため、延利用時間は前年比453時間(32.6%)増の1,843時間となりました。なお、いわき市からの要請により、前年度に引き続き毎週日曜日の午前中、研修室を新型コロナウイルスワクチン接種会場として提供しましたが、その延利用時間は研修室(大)・(小)合わせて352時間(前年度184時間)でした。

## (2) いわき市からの受託事業

### ① ファミリー・サポート・センター事業 (表1-8参照)

共働き世帯などの子育てを支援するファミリー・サポート・センター事業については、育児支援を希望する方を依頼会員とし、育児を援助できる協力会員を募集して子育て支援活動を斡旋する事業として実施しました。令和4年度も新型コロナウイルス感染症による事業中断などは無く、各研修会や会員の親睦を深める交流会も計画通り実施することができ、研修会参加者から新たに協力会員5名と両方会員1名の登録がありました。加齢や身体の不調を理由に退会する協力会員が多く、依頼会員も子供の進学、進級に伴う退会者数に対して新規登録が伸び悩んだため、会員数はいずれも減少し、合わせて前年比で90人(12.4%)減の637人となりました。

支援活動件数についても、会員数の減少に加えて、新型コロナウイルス感染症の感染拡大が繰り返される中、学校や児童施設でのクラスター発生等の影響による利用取消や、他者との接触による感染に懸念を抱く利用控えも相変わらず見受けられ、前年比310件(22.2%)減の1,087件となりました。

### ② 健康づくりサポートセンター事業 (表1-9参照)

#### 【利用制限等】

- ・臨時休業：実施せず。[令和3年度は155日]、[令和2年度は0日]

事業開始3年目を迎えた健康づくりサポートセンター事業は、前期と後期に分けてそれぞれ50人ずつ参加者を募集し、健康づくり初心者の生活習慣病の予防や改善に資することを目的に、利用者が自主的にトレーニングする時間と体育指導員による45分間トレーニング、管理栄養士による栄養指導、相談などの内容でカリキュラムを構成し、実施しました。前年度とは異なり、臨時休業は行わなかったものの、4月当初の第6波に始まり、第7波、第8波と感染拡大に見舞われ、感染状況に応じて45分間トレーニングを休止した他、感染の懸念に対する利用控えや参加者自身の体調不良などを理由とした利用取消もしばしばあり、継続的に利用できた方も少なかったことから、前年度に比べ133人(5.0%)減の2,523人にとどまりました。

### (3)その他の公益事業

#### ① 障害者相談支援事業[計画相談支援] (表1-10参照)

障害福祉サービスの利用を希望する障がい者に対し、本人の希望や生活上の課題を聞き取り、サービス利用計画を作成する計画相談支援業務を、いわき市障害者生活介護センターを拠点に実施しました。新型コロナウイルス感染症感染拡大等による事業の中断等が生じることはありませんでしたが、感染を懸念する利用者やその家族の要望もあり、直接訪問などの接触機会をできるだけ避けるなど、配慮しながらのサービス提供となったことから、支援件数は前年比31件(7.5%)減の408件となりました。

#### ② 温泉療法事業

温泉利用型健康増進施設の認定を受けているいわき市健康・福祉プラザにおいて、実施できる温泉療法事業については、計3名から事業内容等についての問い合わせがあり説明しましたが、いずれも温泉療法医を受診して作成される温泉療法指示書の取得に至らなかったため、温泉療法実施の実績はありませんでした。なお、県外からの宿泊者であった2名については、温泉利用指導者による温泉療法の参考メニューを示し、体験的な実施を行いました。

#### ③ いきいき健康教室事業

健康・福祉プラザを会場に、市民の健康増進に寄与するために当館体育指導員により令和元年度まで毎年実施してきましたが、令和4年度においても施設の臨時休業は無かったものの、断続的に新型コロナウイルス感染症の感染拡大が発生する状況を踏まえ、計画的に参加者募集、教室開催を行うことが難しいと判断し、前年度に引き続き休止しました。

なお、令和5年度に向けて運動教室(ゆったりレッスン事業)を本格的に再開する準備の一環として、試験的に10月より屋内プールでの水中運動に限定して週1回1時間のプログラムを実施しました。

1-1 施設貸与事業(各施設の利用状況)

	施設名	令和4年度①	令和3年度②	比較 ①-②	令和元年度
老人施設	平老人福祉センター	447 件	242 件	205 件	779 件
	小名浜老人憩いの家	369	254	115	690
	勿来老人福祉センター	261	156	105	509
	内郷老人福祉センター	475	273	202	643
	四倉老人福祉センター	405	209	196	711
	件数計	1,957	1,134	823	3,332
児童厚生施設	こども元気センター	57,372 人	33,390 人	23,982 人	98,128 人
	(※内小学生)	(7,563)	(4,427)	3,136	(19,217)
	(※内未就学児童)	(23,600)	(13,715)	9,885	(36,755)
	(※内大人)	(26,081)	(15,144)	10,937	(42,009)
	(※地域活動推進事業)	(128)	(104)	24	(147)
	小名浜児童センター	7,533 人	4,988 人	2,545 人	19,778 人
	(※内小学生)	(43)	(17)	26	(5,594)
	(※内未就学児童)	(3,563)	(2,380)	1,183	(6,845)
	(※内大人)	(3,185)	(2,079)	1,106	(5,576)
	(※内プール利用者)	(355)	(259)	96	(1,056)
	(※地域活動推進事業)	(387)	(253)	134	(707)
	内郷児童館	12,078 人	8,722 人	3,356 人	30,744 人
	(※内小学生)	(632)	(782)	△ 150	(12,554)
	(※内未就学児童)	(5,667)	(4,065)	1,602	(7,802)
	(※内大人)	(4,926)	(3,174)	1,752	(6,463)
	(※内プール利用者)	(392)	(182)	210	(2,682)
	(※地域活動推進事業)	(461)	(519)	△ 58	(1,243)
	人数計	76,983 人	47,100 人	29,883 人	148,650 人
	(※内小学生)	(8,238)	(5,226)	3,012	(37,365)
	(※内未就学児童)	(32,830)	(20,160)	12,670	(51,402)
	(※内大人)	(34,192)	(20,397)	13,795	(54,048)
	(※内プール利用者)	(747)	(441)	306	(3,738)
(※地域活動推進事業)	(976)	(876)	100	(2,097)	
永井保育所	1,393 人	1,139 人	254 人	907 人	
いわきサン・アビリティーズ	24,585 人	14,458 人	10,127 人	39,531 人	
(※内障がい者)	7,320 人	3,767 人	3,553 人	12,874 人	

	施設名	令和4年度①	令和3年度②	比較 ①－②	令和元年度
健康・福祉プラザ	健康増進施設	129,424人	134,939人	△ 5,515人	297,441人
	(※年間利用券利用)	(55,889)	(121,679)	△ 65,790	(271,592)
	宿泊施設	3,687	2,083	1,604	5,006
	浴室付大広間	23,469人	13,571人	9,898人	17,921人
	研修施設	1,843時間	1,390時間	453時間	1,958時間

※研修施設の令和3、4年度実績には、ワクチン接種会場としての提供時間を含む

### 1-2 地域子育て支援拠点事業の実施状況

		令和4年度①	令和3年度②	比較 ①－②	令和元年度
元気	利用親子	1,747組	919組	828組	1,851組
	相談件数	1,802件	985件	817件	2,134件
小名浜	利用親子	1,679組	1,019組	660組	2,988組
	相談件数	467件	357件	110件	1,223件
内郷	利用親子	3,203組	1,821組	1,382組	2,980組
	相談件数	2,654件	1,039件	1,615件	1,381件
合計	利用親子	6,629組	3,759組	2,870組	7,819組
	相談件数	4,923件	2,381件	2,542件	4,738件

### 1-3 いわきサン・アビリティーズ主催事業実施状況

大会・事業名	参加人数	大会・事業名	参加人数
リアル野球盤交流会	14	スポーツレクリエーション交流会	14
卓球大会	8	スポーツレクリエーション交流会	17
ボッチャ交流会	14	ブラインドテニス大会	中止
車いすテニス大会	4	教養講座作品展示会	9
スポーツレクリエーション交流会	12	風船バレー交流会	7
スルーネットピンポン大会	15	オセロ大会	12
スポーツレクリエーション交流会	14	バスケット大会	中止
車いすバスケット大会	中止	アーチェリー競技会	2
フライングディスク大会	12	ローリングバレー交流会	10
卓球バレー交流会	6	ショートテニス大会	9

※「中止」は新型コロナウイルス感染拡大防止のため

### パラスポーツ体験教室開催事業

(単位 人)

	令和4年度①	令和3年度②	比較 ①－②	令和元年度
障がい者	30	71	△ 41	82
その他(健常者)	44	138	△ 94	164
合計	74	209	△ 135	246



1-4 健康増進施設の利用状況

(単位 人)

区分	利用人数			構成比	令和3年度 ②	比較 ① - ②	令和 元年度	
	男性	女性	合計①					
ビ ジ タ ー	高齢者・障がい者	1,448	765	2,213	1.7%	935	1,278	4,621
	一般利用(大人)	4,877	2,432	7,309	5.6%	2,731	4,578	2,409
	〃 (小人)	249	180	429	0.3%	244	185	788
	〃 (夜間)	0	0	0	0.0%	0	0	3,219
小計		6,574	3,377	9,951	7.7%	3,910	6,041	11,037
年間利用券利用		29,714	26,175	55,889	43.2%	121,679	△ 65,790	271,592
宿 泊 者	高齢者等	116	101	217	0.2%	89	128	215
	一般利用(大人)	89	67	156	0.1%	59	97	119
	〃 (小人)	17	4	21	0.0%	9	12	51
	小計	222	172	394	0.3%	157	237	385
回 数 券	高齢者等	21,646	20,568	42,214	32.6%	3,779	38,435	2,802
	一般利用(大人)	11,198	8,470	19,668	15.2%	4,275	15,393	1,248
	〃 (小人)	236	369	605	0.5%	246	359	92
	小計	33,080	29,407	62,487	48.3%	8,300	54,187	4,142
入場券利用		104	71	175	0.1%	598	△ 423	8,633
その他利用		269	259	528	0.4%	295	233	1,652
合計		69,963	59,461	129,424	100.0%	134,939	△ 5,515	297,441

1-5 宿泊施設の利用状況

(単位 人)

区 分	利用人数			構成比	令和3年度 ②	比 較 ①-②	令和 元年度	
	男性	女性	合計①					
宿 泊 施 設	高齢者・障がい者	1,074	1,330	2,404	65.2%	1,510	894	3,351
	障がい者(小人)	10	2	12	0.3%	10	2	26
	一般利用(大人)	697	431	1,128	30.6%	526	602	1,396
	〃 (小人)	68	75	143	3.9%	37	106	233
合計		1,849	1,838	3,687	100.0%	2,083	1,604	5,006

1-6 宿泊施設の稼働状況

(単位：%)

	令和4年度①	令和3年度②	比較① - ②	令和元年度
部屋稼働率	31.0	18.8	12.2	43.3
定員稼働率	21.0	11.9	9.1	28.5

1-7 宿泊者の地域別利用

(単位 人)

区 分		令和4年度 ①	構成比	令和3年度 ②	比 較 ①-②	令和 元年度
地 域 別	いわき市内	850	23.1%	879	△ 29	2,320
	福島県(いわき市を除く)	1,271	34.5%	617	654	574
	関東	1,380	37.4%	508	872	1,740
	北海道・東北(福島を除く)	110	3.0%	48	62	209
	上記以外	76	2.1%	31	45	163
	合 計	3,687	100.0%	2,083	1,604	5,006

1-8 ファミリー・サポート・センター事業の実施状況

(単位 人、件)

	令和4年度①		令和3年度②		比較 ①-②		令和元年度	
依 頼 会 員 数	318		383		△ 65		432	
協 力 会 員 数	292		304		△ 12		286	
両 方 会 員 数	27		40		△ 13		47	
計	637		727		△ 90		765	
支 援 活 動 件 数	1,087		1,397		△ 310		1,814	
基 本 研 修 会	8回	63人	6回	74人	2回	△11人	8回	88人
ステップアップ研修会	2回	41人	0回	0人	2回	41人	2回	64人

1-9 健康づくりサポートセンター事業

※事業開始は令和2年度12月から

(単位 人)

	令和4年度①	令和3年度②	比較 ①-②	令和2年度実施月 12月～3月  令和3年度実施月 4月、6月、7月、 10月～1月
セルフトレーニング	1,959	1,632	327	
運動教室	0	567	△ 567	
45分間トレーニング	352	365	△ 13	
トレーニング計	2,311	2,564	△ 253	
測定会・栄養相談等	212	92	120	
合 計	2,523	2,656	△ 133	

1-10 障害者相談支援事業(計画相談支援)

(単位 件)

	令和4年度①	令和3年度②	比較 ①-②	令和元年度
計画相談	295	262	33	265
モニタリング加算	113	177	△ 64	108
合 計	408	439	△ 31	373

## 2 収益事業（介護事業）

### 1. 総括事項

令和4年度も事業団の収益事業として、いわき市健康・福祉プラザで通所介護事業と居宅介護支援事業を、いわき市障害者生活介護センターで障害者生活介護事業を感染症対策の徹底を図りながら、在宅で暮らす要介護者の自立的な生活の支援の一環として、感染症対策に努めながら事業を実施しました。年度当初の第6波に続き、第7波、第8波と3度の感染拡大に見舞われ、その感染力の増大に伴い感染者数もそれまでと比較にならないほど増加したため、重症化リスクの高い高齢者や障がい者にとっては一層警戒しなければならない情勢となりました。利用者だけでなく利用者の家族や周囲での陽性者や濃厚接触者の有無にも留意しなければならず、少しでもリスクがある場合は、利用を休止してもらおうなど思うように利用者数を伸ばすことができない状況が続きました。結果として、これら収益事業（介護事業）の収入は、三事業合わせて前年比2,410千円減の101,462千円でした。一方、支出は、前年比3,392千円増の113,658千円となり、その収支は12,196千円の赤字で、前年度にも増して大きな赤字を計上することとなり、収益事業としての役割を果たせていない結果となりました。

#### (1) 通所介護事業（表2-1～2参照）

いわきゆったり館デイサービスセンターにおいて、在宅の要介護・要支援高齢者を対象に通所介護事業を実施しました。令和4年度も、利用者増を図るべく19名の新規利用者を獲得し、8名の方が利用回数を増して利用をすることができましたが、死亡や入所などで18名の登録取消もあり利用者数の増加を図ることができませんでした。むしろ、冒頭に記載した通り新型コロナウイルス感染症の施設内感染を防ぐため、利用者本人や家族の体調等にも細心の注意を払い、利用自粛をお願いするケースもしばしば生じるなど、介護予防を合わせた延利用者は前年比336人(6.2%)減の5,047人となりました。

この結果、収入は前年比3,580千円減の41,906千円で、支出は前年比89千円増の46,870千円であったため、収支は4,964千円の赤字となりました。

#### (2) 居宅介護支援事業（表2-3参照）

いわきゆったり館居宅介護支援事業所では、高齢の要介護者等に対し、心身の状況等に応じた適切な介護サービスを利用できるよう専任の介護支援専門員によるケアプラン作成業務を実施しました。

令和4年度は、新規利用8名、死亡等による取消が9名で実質1名減となりましたが、ケアプラン作成件数は前年比19件(6.4%)増の316件でした。

結果として、収入は前年比150千円増の3,119千円、支出は前年比137千円増の7,332千円であったため、収支は4,213千円の赤字となりました。

### (3) 障害者生活介護センター（表2-4～5参照）

障害者生活介護センターでは、在宅の障がい者を対象に地域での生活支援につながるよう通所による生活介護事業を実施しました。令和4年度においても、いわきゆったり館デイサービスセンター同様、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、感染を懸念する利用控えや施設入所者の利用について一定期間利用を休止するなどの入所施設側の措置のあおりを受け、延利用者数を増やすことは容易ではありませんでした。また、8月に職員1名が新型コロナウイルス感染症の陽性となり、臨時に4日間休業した影響や、介護保険への移行等による契約解除も3名いた中、新規利用者5名の獲得と2名の利用回数増で、延利用者数は、前年比61人(1.0%)増の6,097人と若干ですが増やすことができました。

その結果、収入は前年比1,020千円増の56,437千円となったものの、支出も電気料金高騰の影響もあり前年比3,166千円増の59,456千円であったため、収支は3,019千円の赤字となりました。

### 2-1 通所介護事業利用状況

	令和4年度①	令和3年度②	比較①-②	令和元年度
(1)年度末利用登録者数 (人)	53	46	7	56
(2)年度開所日数 (日)	308	308	0	307
(3)年間利用予定者数 (人)	5,694	6,003	△ 309	5,626
(4)年間延利用者数 (人)	4,498	4,743	△ 245	5,290
(5)年間利用率 (%)	79.0%	79.0%	0	94.0%
(6)1日当たり平均利用者数 (人)	14.6	15.4	△ 0.8	17.3

### 2-2 第1号通所事業利用状況

	令和4年度①	令和3年度②	比較①-②	令和元年度
(1)年度末利用登録者数 (人)	6	7	△ 1	8
(2)年度開所日数 (日)	308	308	0	307
(3)年間利用予定者数 (人)	644	766	△ 122	694
(4)年間延利用者数 (人)	549	640	△ 91	656
(5)年間利用率 (%)	85.2%	83.6%	0	94.5%
(6)1日当たり平均利用者数 (人)	1.8	2.1	△ 0.3	2.2

### 2-3 居宅介護支援事業:ケアプラン作成件数

(単位 件)

区分	令和4年度①	構成比	令和3年度②	比較①-②	令和元年度
要支援 1	0	0.00%	0	0	0
要支援 2	12	3.80%	27	△ 15	25
要介護 1	61	19.30%	51	10	21
要介護 2	120	37.97%	100	20	99
要介護 3	115	36.39%	112	3	51
要介護 4	3	0.95%	0	3	7
要介護 5	5	1.58%	7	△ 2	12
合計	316	100.0%	297	19	215

### 2-4 障害者生活介護センター利用状況

(単位 人)

障害支援区分	令和4年度①	構成比	令和3年度②	比較①-②	令和元年度
区分 2	489	8.02%	489	0	899
区分 3	1,832	30.05%	1,874	△ 42	1,708
区分 4	848	13.91%	951	△ 103	1,001
区分 5	928	15.22%	888	40	1,245
区分 6	2,000	32.80%	1,834	166	2,160
合計	6,097	100.0%	6,036	61	7,013

### 2-5 障害者生活介護センター 登録者動静

(単位 人)

新規契約	契約解除	利用回数		区分変更	
		増	減	重	軽
5	3	2	0	1	1